

2022年6月5日～6月11日 各家庭でのディボーション用テキスト

信仰者 このしるしの方が第一であるべきです。が最初であれ最後であれ、それも間違っています。というのは福音の奥義における知識、大いなる知識が得られても魂に何らの恵みの働きがないことがあるからです。いや、人があらゆる知識に通じていても、なお無に等しいものであり、【Iコリ13:2】したがって神の子でないことがあります。キリストが「あなたがたはこれらすべての事を知っているか」とおっしゃって、弟子たちがはいと答えたとき、つけ加えておっしゃったことば、「それを行なうならあなたがたはさいわいである」というのでした。【ヨハ13:17】これらの事を知っていることでなく、行なうことに祝福をおかれるのです。行ないを伴わぬ知識があるからです。「主人のころを知っていながら、これを行なわぬもの」とあります。人は天使のように知っていてもクリスチャンでないことがあります。それ故あなたの言われるそのしるしは真実ではありません。実際、知ることはお喋りやほら吹きを喜ばすことですが、しかし行なうことは神を喜ばすことです。心は知識がなくても善良であり得るというのではありません。知識がなければ心はからですからね。それ故知識にもいろいろあります。事物の単なる思索に止まる知識と、信仰と愛との恵みを伴う知識とで、それが心から神のみ旨そのままを行なわせるものです。このうち前者はお喋りやに役立ちますが、後者がなければ本当のクリスチャンは満足しないものです。「わたしに知恵を与えてください。わたしはあなたのおきてを守り、心をつくしてあなたに従います」とあります。

饒舌者 また言葉じりをつかまえようとしていますな。これでは人の徳を建てることにはなりませんね。

信仰者 ところでよろしかったら、この恵みの働きがそのある所にどんなに現われるか、もう一つのしるしを出して下さい。

饒舌者 よしましょう。意見が合わないことはわかっていますから。

信仰者 では、あなたがしたくなければ、私がお話ししてもよろしいでしょうか。

饒舌者 どうぞ勝手に。

信仰者 魂における恵みの働きは、それを持っている者か、または側にいる人に現われます。

それを持っている人にはこんなふう to 現われます。それは彼に罪、とくに、自分の性質の汚れていることと不信仰の罪とを自覚させます。(もしイエス・キリストを信じることによって神のみ手に憐れみを見出さないならば、彼はその罪のためにきっと罰せられます。)物事をこのように見て感じる事が罪に対する悲しみと恥ずかしさの念を心の中に起こさせます。その上、彼は世の救い主が自分の中に啓示されていることや、また命のために彼に従うことが絶対に必要なことが分かって、彼を飢え渴くように慕うことを感じます。その飢え渴きに対しては約束が与えられ

ています。さて、彼の救い主に対する信仰の強いか弱いによって、喜びと平安、清さを愛する念、主をもっとよく知りたいという願い、またこの世で主に仕えたいという願いに強弱があります。しかし恵みの働きがこのように彼に現われると私は申しましたが、めったに彼はこの恵みの働きだと断定することはできないのです。彼の今の墮落と、誤用した理性とのために彼はこの事柄について間違った判断をするからです。それ故この働きを持っているものは、よほどしっかりした判断をしなければ、これが恵みの働きであると確信をもって断定することはできません。

ほかの人々には、それは次のように現われます。

一、キリストに対する信仰を実験的に告白することによって。【ロマ 10:10、ピリ 1:27、マタ 5:9、詩 50:20、ヨブ 42:5-6】

二、その告白にかなう生活によって、すなわち、清き生活、心の清さ、(家族があれば) 家族の清さ、また世の中における行ないの清さによって。それが一般に教えるところは、心中に自分の罪を厭い、また罪のゆえにひそかに自己を厭うことであり、家族における罪を制し、この世における清さを助長することであって、それも偽善者やお喋りやがするように単に談話によってではなく、信仰と愛とにおいてみ言の力に實際服従することによってです。さて、恵みの働きとその現われについて以上簡単に述べましたが、それに対して何か異議がございましたら申し立ててください。もしなければ、もう一つ問題を出すのを許してください。

饒舌者 いや、私のたまた今の役割は異議を申し立てることではなく、拝聴することです。それ故第二の問題をお聞かせ下さい。

信仰者 それはこうです。以上述べたことの初めの部分をあなたは経験なさいますか。あなたの生活と行ないとがそれを証ししていますか。それともあなたの宗教は言葉や口先だけに止まって、行動と真実とにはないのでしょうか。この点お答え下さるお気持ちがあるなら、どうか天の神が「そのとおり」と言われるとご存じのこと、また良心が正しいと認めることだけを言って下さい。「自分で自分を推薦する人ではなく、主に推薦される人こそ、確かな人なのである」からです。【Ⅱコリ 10:18】 その上、自分はこれこれの者だと言っても、自分の行ないとすべての隣人とがそれはうそだと言うなら、それは大きな悪事です。

すると饒舌者は最初は顔をあからめかけたが、気を取り直して次のように答えた、あなたは今や経験、良心、神を論じ、その論の正しさを証しするために神に訴えるに至りました。この種の談話は思いもよらないものでした。そのような問題に答えたくもありません。答える義務があるとも思いません、あなたが教義問答の教師という役目を引き受けられたのでなければね。またたとえそう言ったとしても、私はあなたを自分のさばき人とするのはご免こうむるかもしれません。失礼ですが、いったいなぜそのような質問をなさるのか、そのわけを話して下さいませんか。

【ジョン・バニヤン 天路歷程 正篇 より】

※この本は図書に置かれています。さらに読みたい方はどうぞご利用下さい